



いのち
生命と神話が息づく
新しい日本のふるさとづくり

雲南市 市勢要覧

2020



雲南市

ごあいさつ

雲南市は、「^{いのち}生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」を基本理念に掲げ、市民の皆様と力を合わせ、「課題先進地」から「課題解決先進地」へのチャレンジに取り組んでいます。

特に、質の高い教育の提供により将来を担う人材の育成を図る「子どもチャレンジ」、課題解決に向けた起業をすすめる「若者チャレンジ」、地域自主組織による住民主体の地域づくりをすすめる「大人チャレンジ」、地域と市内外の企業が協働し社会課題を解決する「企業チャレンジ」。これらの取り組みによる地域づくりは、お陰さまで全国的に注目されるようになってきました。

令和2年度は、これらチャレンジの取り組みに加え、若者に好まれる雇用の場の確保、子育てしながら働きやすい環境づくりなど、より一層取り組みを強化してまいります。このためには、行政や地域自主組織など多様な関係者が協働しながら地域全体を支え合うことが必要であり、これにチャレンジしてまいります。



雲南市長
速水 雄一

雲南市プロフィール

PROFILE



地勢

TOPOGRAPHY

島根県の東部に位置し、面積は553.18km²です。北部は出雲平野や宍道湖が広がる松江市、出雲市と接し、南部に中国山地が連なり、広島県に接しています。

市内には、一級河川の斐伊川と支流の赤川・三刀屋川・久野川などのほか、神戸川に注ぐ稗原川、波多川が流れています。このため、加茂町から大東町、木次町、三刀屋町にかけ、斐伊川と赤川、三刀屋川の合流地点を中心に平坦部が広がっていますが、南部は中国山地に至る広範な山間部となっています。



歴史

HISTORY

市内各地に神話や伝説が残り、多くの遺跡や古墳が発掘され、平成8年10月には1ヵ所の出土としては全国最多となる39個の銅鐸が加茂岩倉遺跡から出土しています。市の中央を縦断する斐伊川は、ヤマタノオロチ伝説でも知られ、古くから支流周辺の低地では農耕が営まれ、また、山間部ではたたら製鉄や炭焼きが盛んに行われてきました。



人口

POPULATION

雲南市の人口は、平成27年国勢調査によると39,032人で、平成22年国勢調査と比較すると2,885人(6.9%)減少し、うち65歳以上の高齢人口が占める割合は36.5%と、年々高齢化が進んでいます。年齢別人口構成は、少子高齢化が進み、平成2年には高齢化率が年少人口割合を上回り、平成27年には年少人口割合は11.8%となっています。



産業 INDUSTRY

【農林業】 有機農業への先駆的な取り組みから安全・安心な米や畜産、野菜、花き栽培など良質な農畜産物が生産され、平成10年から続く島根県農業協同組合と連携した農産物の産直のほか、乳製品やワインなどの多彩な加工品も作られています。

林業では、豊富な森林資源の新たな活用策として、木質チップボイラー等の整備を中核として市民参加による林地残材の収集運搬や地域通貨も活用した森林バイオマスエネルギー事業の取り組みを進めています。

【工業】 加茂町・木次町等に企業団地が整備されており、誘致企業をはじめとする事業所が立地しています。特に木次町に一般機械製造業、電気機械製造業等の集積が進んでおり、平成28年経済センサスー活動調査の製造品出荷額は県内第4位となっています。産業分類別でみると、食料品、衣料、木材、一般機械などの事業所が立地しています。



完成した神原企業団地(加茂)

【商業】 市内では消費の多くが市外に流出し、小売業の販売額が低下することによる地域商業の低迷が顕著になってきています。市の中心市街地においては、新たな商業集積施設の整備や既存商業施設のリニューアルなどによる中心市街地活性化事業に取り組み、小売販売額の増加と消費の流出に歯止めをかけるために、地域商業の新たな活気づくりとまちの賑わいづくりを進めます。

【観光】 豊かな自然・歴史資源に恵まれており、観光資源が豊富にあります。温泉・道の駅・公園・ゴルフ場・博物館等の観光・レクリエーション施設も多数整備されており、雲南市には年間146万人が訪れています。



中心市街地商業施設「コトリエト」



令和元年11月にオープンした国民宿舎清嵐荘

第2次雲南市総合計画

(後期基本計画・第2期総合戦略)

まちづくりの基本理念

いのち

生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり 「課題先進地」から「課題解決先進地」へ

私たちは、力を合わせて課題を乗り越えるという合併時の決意を忘れず、さらに歩みをすすめます。

グローバル経済が進展する社会において、経済の好循環と地域の自立に向けた挑戦。平和や地球環境、食料、エネルギーなど地球規模の課題に対しての雲南市の責務の遂行。格差や差別のない、安全・安心な暮らしづくり。そして、何よりも持続可能な地域に向け、人口の急激な減少を食い止める挑戦。

私たちは、雲南市が継承してきた恵みを活かし、助け合い、情報を共有し、互いに学び合い、そして、外へ伝え、外とつながっていくことで、これらの課題に立ち向かいます。

●私たちは、「人と自然と歴史と食の幸」を受け継いできたことに感謝し、大切にしていきます。

●私たちは、その幸を活かし、市民力を結集し、課題に立ち向きます。

●私たちは、挑戦を通し交流を生み出し、世界につながります。

雲南市のめざす姿

雲南市の挑戦

基本理念に掲げた挑戦により、「安全・安心」「活力と賑わい」「健康長寿・生涯現役」の実現をめざします。多彩な地域づくり組織や市民と行政の協働により、「課題先進地」から「課題解決先進地」へと失敗を恐れぬ挑戦を続けます。

分野ごとの将来像

みんなで築くまち (協働・行政経営)

交流人口を拡大し、訪れる人が住みたくなる魅力あふれるまちに向け、地域づくり活動や若者のチャレンジを支援するほか、中間支援組織の育成など、時代を先取りする行政経営に挑戦します。

安全・安心で 快適なまち (定住環境)

安全・安心な生活を営むための生活基盤の計画的な整備や維持のほか、自然災害や原発事故などに備える体制の整備をすすめるほか、地域自主組織の自主防災・防犯の活動を支援します。また、都市機能の充実や定住のための住宅施策を一層すすめます。

支えあい健やかに 暮らせるまち (保健・医療・福祉)

子どもたちが健やかに育つよう、子育てしやすい環境を一層充実します。また、医療体制の充実とともに、介護・障がい者福祉サービスの充実を図り、事業者とともにサービス提供に努め、自立に向けた支援をします。

ふるさとを学び 育つまち (教育・文化)

確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育環境の充実を図るとともに、学校・家庭・地域(企業・NPOを含む)との協働により、子どもから大人まで多様な学びの環境と機会を充実を図ります。

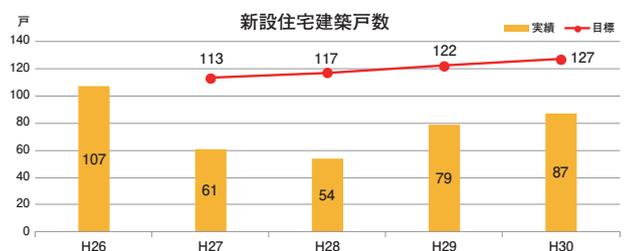
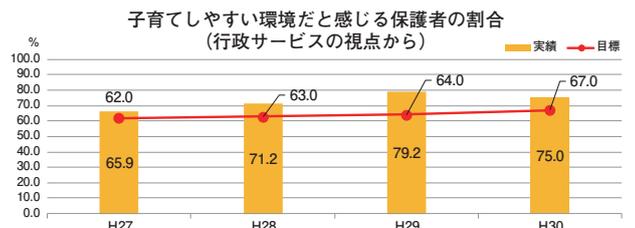
挑戦し活力を 産みだすまち (産業)

農林業や観光、中小企業の振興に加え、企業立地のための環境整備を図るとともに、創業者や経営者の活力ある産業振興に向けた挑戦を支援します。

『人口の社会増』への挑戦

第2次雲南市総合計画(前期基本計画・第1期総合戦略)において、「定住基盤の整備」と「人材の育成・確保」に関する施策を着実にすすめてきたことにより、子育てしやすい環境だと感じる保護者の割合や、雲南市内へ新たに住宅を建築する世帯数が増加してきています。

こうした状況を踏まえ、第2次雲南市総合計画(後期基本計画・第2期総合戦略)においても、子育てしながら働きやすい環境づくりや、子育て世代に好まれるような住宅環境の整備など、安心して子どもを産み育てることができる環境を整え、人口の社会増をめざします。



令和2年度の主な取り組み

取り組み

01

みんなで築くまち 協働・行政経営

地域課題の解決をめざす、子ども × 若者 × 大人のチャレンジに、令和元年度から新たに企業チャレンジを加え、市内外の企業と地域が協働して地域課題解決に向けた取り組み（ソーシャルチャレンジ）をすすめています。また、住民主体の地域づくり組織による小規模多機能自治に挑戦する全国の自治体等と構築したネットワーク（代表：雲南市）を通じて、相互の情報交換・学び合いにより、小規模多機能自治を推進しています。



取り組み

02

安全・安心で快適なまち 定住環境

「人口の社会増」に向け、市内に定住しようとする子育て世帯に対して、民間分譲地の購入支援や空き家改修支援を行うとともに、三世帯同居のための住宅改修に対する助成も行っています。併せて、東京23区からの移住支援や、民間賃貸住宅の家賃助成を行っています。

さらに、今後、ケーブルテレビ伝送路設備を光ファイバーケーブル化することから、4K・8K放送や、超高速インターネットに対応できる環境が整う予定です。



取り組み

03

支えあい健やかに暮らせるまち 保健・医療・福祉

市民誰もが住み慣れた地域で、その人らしく最後まで安心して暮らし続けられるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援の関係機関とのネットワークによる地域包括ケアシステムの構築をすすめています。

また、子育て環境の向上を図るため、放課後児童クラブの整備や義務教育終了までの子ども医療費無料化、保育所等の副食費無償化などを実施しているほか、満18歳未満の児童が3人以上いる世帯のうち、3人目以降の児童（対象：0～2歳児）にかかる保育料を無料にしています。



取り組み

04

ふるさとを学び育つまち 教育・文化

中学校・高校にコーディネーターを配置して、『夢』発見プログラムの充実やコミュニティースクールを活性化させ、幼児期から高校までの連続性あるキャリア教育を柱とする教育魅力化をより一層すすめます。また、おんせんキャンパス（教育支援センター）や子ども家庭支援センター学習塾『まなびい』等による児童生徒へのきめ細やかな支援を行います。さらに、雲南コミュニティハイスクールコンソーシアムを核に、個別最適化された学びや自分らしくチャレンジすることのできる教育環境（未来の学校）づくりに取り組みます。



取り組み

05

挑戦し活力を産みだすまち 産業

若者および子育てしながら働きやすいIT・ソフト産業の事務職場の誘致に取り組むとともに、専門スタッフによる企業誘致、事業継承や起業支援、地場産業の振興に取り組んでいます。

また、雲南市ブランド米「プレミアムつや姫たたら焔米」のブランド力強化に向け、品質向上や栽培拡大に取り組むとともに、雲南市の「食の幸」の魅力を感じられる施設整備をすすめています。



ソーシャルチャレンジバレーへの挑戦

「子ども×若者×大人×企業チャレンジの連鎖」による持続可能なまちづくり

これまでの「子ども×若者×大人チャレンジ」により、市内各地で多様なまちづくりの取り組みがすすめられています。

これから変化が激しく、複雑化された社会課題に対応するため、新たに企業が地域課題の解決を進める「企業チャレンジを」を加え、地域全体で社会課題を解決する「ソーシャルチャレンジ」を加速させます。このチャレンジが同様の課題を抱える全国の先導役として、世界の ICT 分野で最先端を走るシリコンバレーのように、雲南市がチャレンジの最先端を走る「ソーシャルチャレンジバレー」をめざします。



Challenge

1

未来をつくる意志と力を育む 「子どもチャレンジ」

新しい時代に対応した「公教育モデル」を構築し、“スペシャルチャレンジ”※を起こす気概のある18歳を育みます。

※ my（個人の内側からこみ上げてくる）、social（社会性を帯びる）、action（主体的な行動を伴い学び成長する）の観点を有するチャレンジ。

【基本事業①】 テクノロジーの活用や地域協働によるチャレンジプログラムを確立し、誰もがチャレンジできる教育環境を創出します。

【基本事業②】 個別最適化された学びや自分らしくチャレンジできる教育環境（未来の学校）を構築します。

Challenge

2

地域と自分の未来を切り拓く 「若者チャレンジ」

志ある大学生や若者、市内事業者のイノベーションを創発し、地域に必要な新事業を創出します。

【基本事業①】 多分野、多世代のチャレンジャーがそれぞれの領域を超えてつながり、学び合う場をつくります。

【基本事業②】 起業や新事業開発を支える伴走支援体制を構築すると共に、必要な人材や資金調達を支援する仕組みの充実・強化を図ります。



Challenge

3

自分たちが地域を経営する 「大人チャレンジ」

地域を担う多様な人材を育成・確保する仕組みを構築するとともに、地域の持続可能性を高める多世代・多分野の“ソーシャルチャレンジ”を創出します。

【基本事業①】 地域経営カレッジや各地域独自の取り組みを通じて、次の担い手が地域づくりに関わるきっかけをつくります。

【基本事業②】 地域円卓会議等を通じて地域課題を共有・議論し、多様な関係者の協働による事業創出や既存事業の見直しを行います。

【基本事業③】 地域自主組織をはじめとする多様な関係者が分野を越え、役割を担い合う体制構築と活動拠点の整備を行います。



Challenge

4

地域と共に社会課題に挑む 「企業チャレンジ」

地域と市内外の企業による連携協働を進め、社会課題を解決する新事業を創出します。

【基本事業①】 企業等が市内の地域活動や課題への理解を深める機会の提供や、地域と共に社会課題を解決する実証事業を支援します。

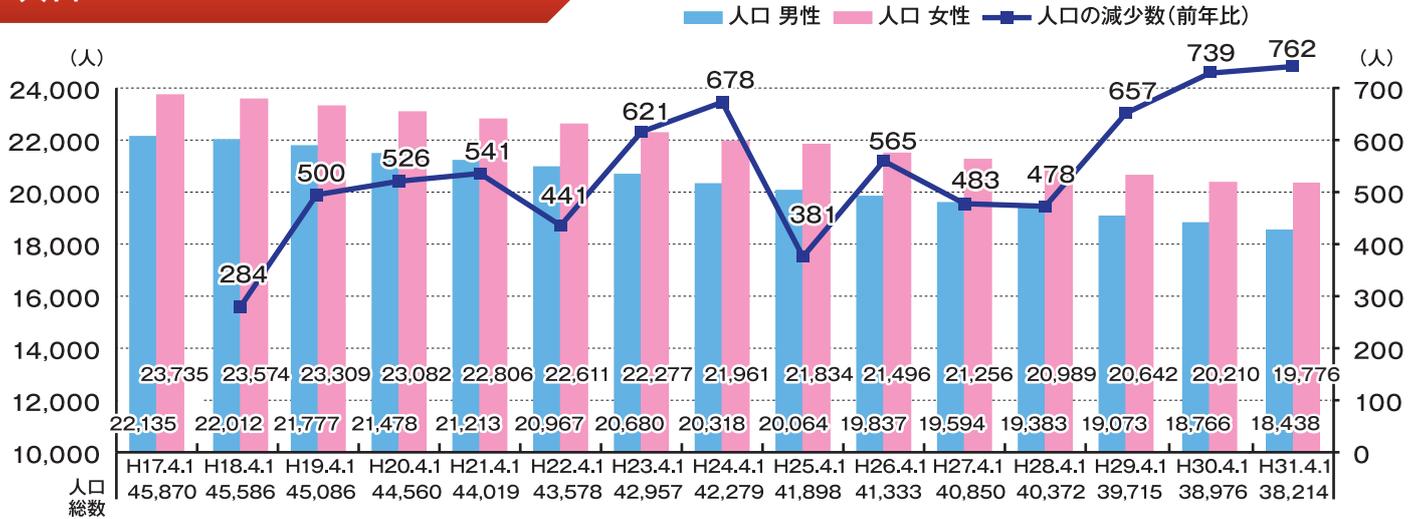
【基本事業②】 企業チャレンジの持続可能な仕組みを整えると共に地域全体で社会課題解決を推進する体制を構築する。



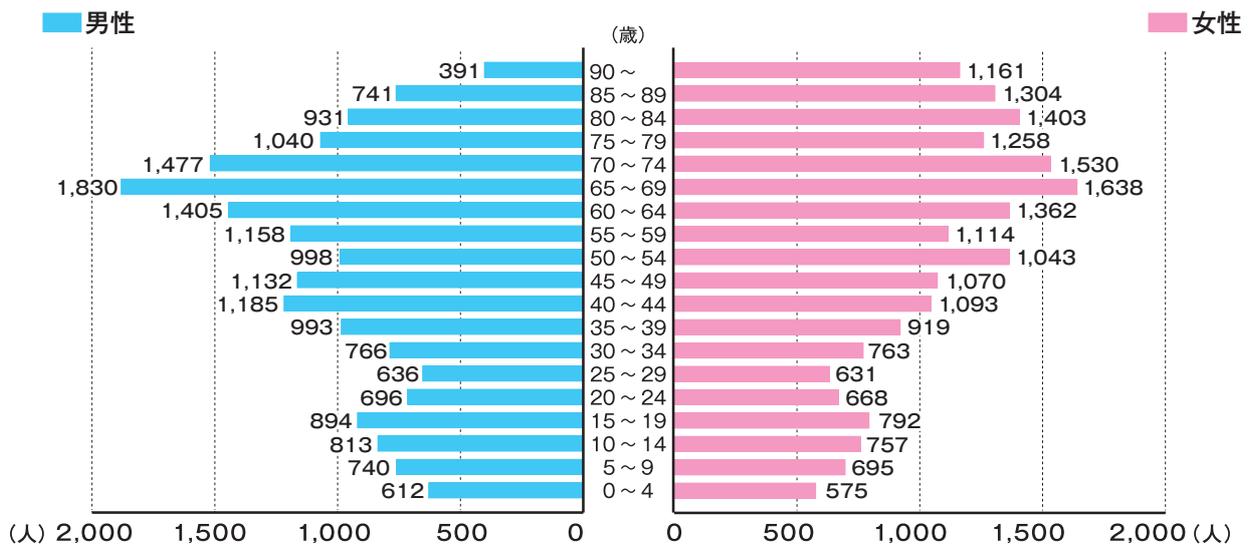
統計資料・グラフで見る雲南市



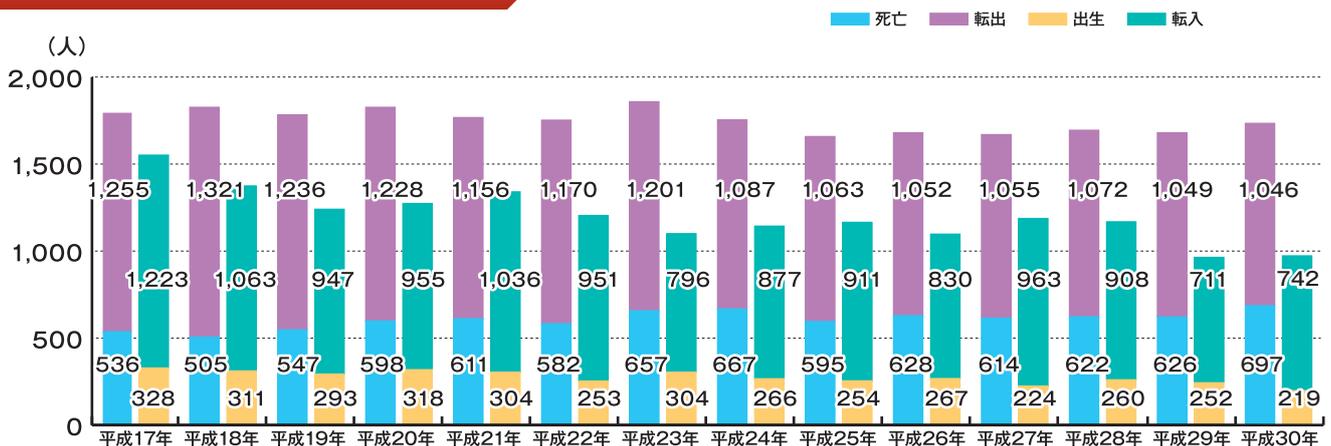
人口 (住民基本台帳)



人口ピラミッド (住民基本台帳H31.4.1 現在)

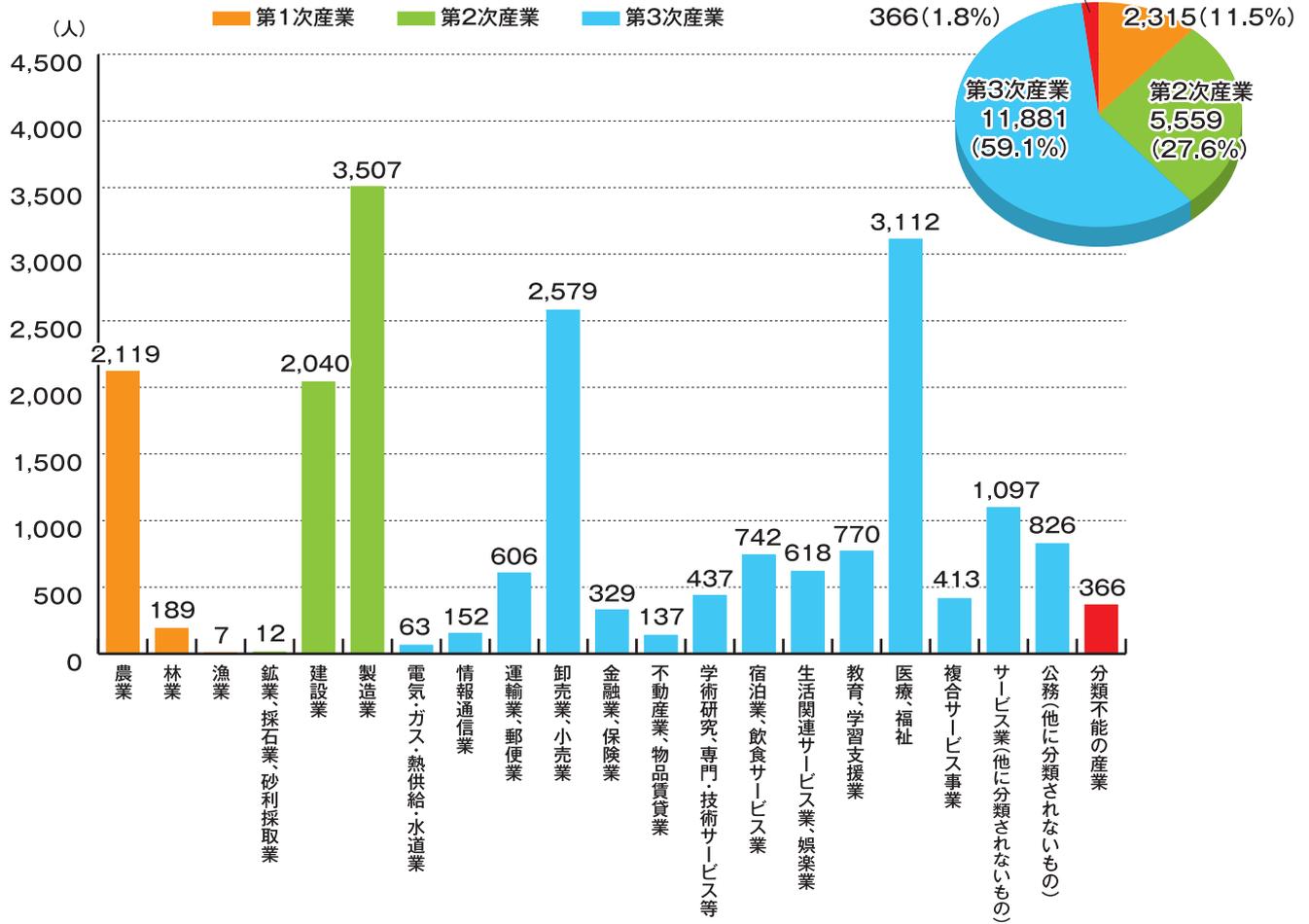


人口動態 (島根県人口動態調査)



産業別従事者数 (平成27年国勢調査)

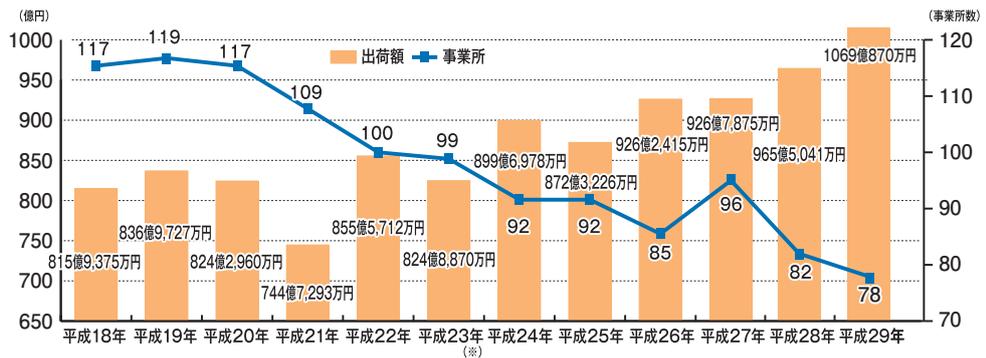
産業別従事者の割合



製造品出荷額等の推移

(従業者4人以上の事業所)
(工業統計調査及び
平成24年経済センサス-活動調査)

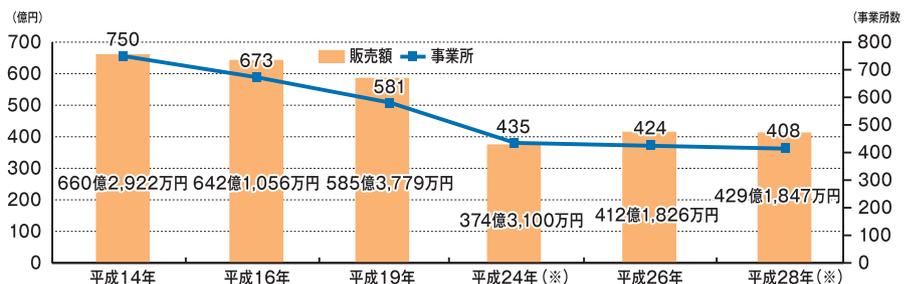
※平成23年は、工業統計調査(基準日:12月31日)は行われていないため、平成24年2月1日基準日で実施した平成24年経済センサス-活動調査の結果を参照。



年間商品販売額等の推移

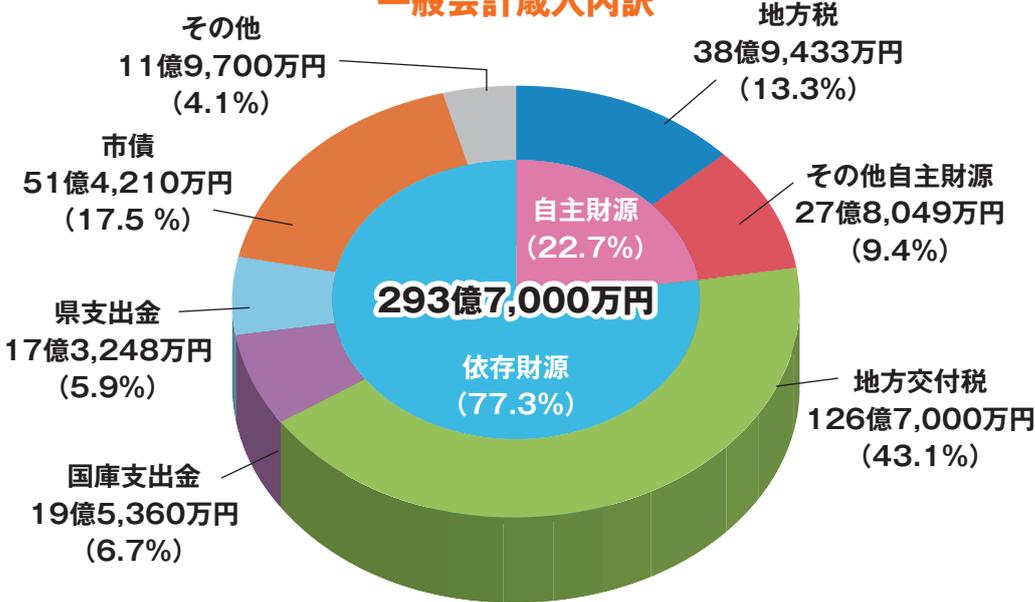
(商業統計調査及び経済センサス-活動調査)

※平成19年以降商業統計調査(基準日:6月1日)は行われていなかったため、平成24年は平成24年2月1日基準日で実施した平成24年経済センサス-活動調査の結果を、平成28年は平成28年6月1日基準日で実施した平成28年経済センサス-活動調査の結果を参照。産業分類別に分類できない不詳事業所を除いて集計しています。

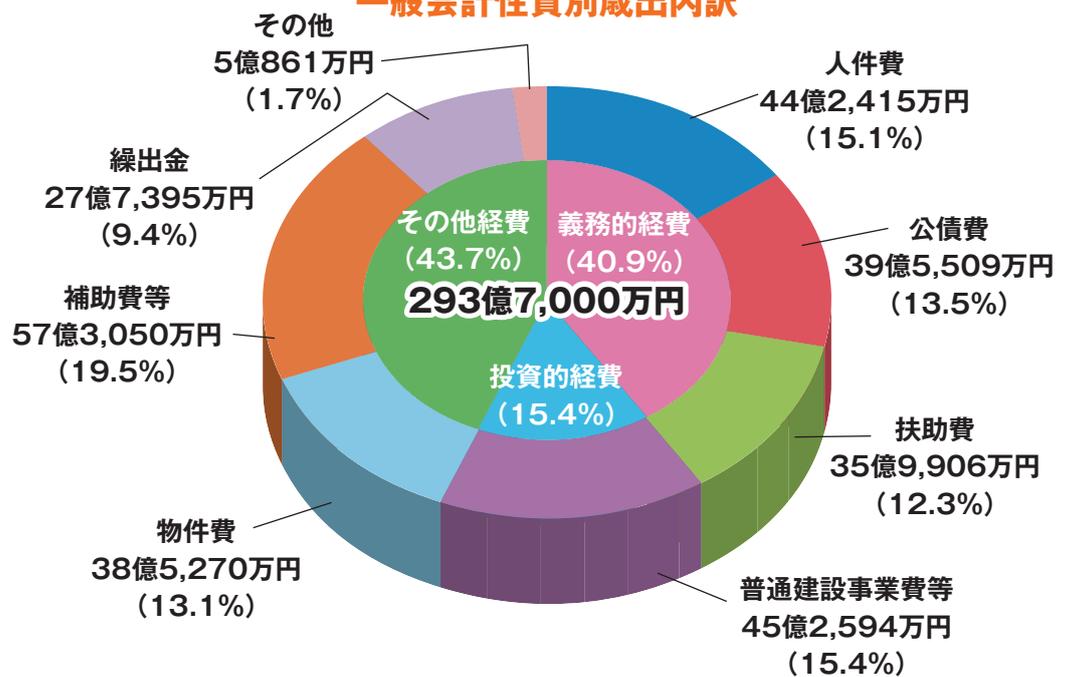


令和2年度 一般会計当初予算額

一般会計歳入内訳



一般会計性質別歳出内訳



令和2年度 会計別当初予算額

会計名	令和2年度予算額	平成31年度予算額	増減額	
一般会計	293億7,000万円	294億5,100万円	▲8,100万円	
特別会計	国民健康保険事業	42億6,770万円	43億9,970万円	▲1億3,200万円
	後期高齢者医療事業	11億5,800万円	10億8,900万円	6,900万円
	農業労働災害共済事業	430万円	440万円	▲10万円
	生活排水処理事業	13億4,500万円	25億9,600万円	▲12億5,100万円
	財産区	40万円	96万円	▲56万円
	土地区画整理事業	0万円	3,220万円	▲3,220万円
合計	361億4,540万円	375億7,326万円	▲14億2,786万円	

雲南市 観光マップ

ヤマタノオロチ伝説で知られる斐伊川をはじめ、神話・伝説ゆかりの名所が各地にあり、加茂岩倉遺跡など多くの史跡や古墳も残されています。山間地では古くからたたら製鉄や炭焼きなども盛んに行われてきた歴史豊かな地域でもあります。



4 かもいわくらしせき 加茂岩倉遺跡

全国最多、1カ所で39個の銅鐸が発掘され、出土物が国宝に指定された本遺跡は、同じく全国最多の銅剣が出土した荒神谷遺跡(出雲市斐川町)と近いことから、古代出雲に強大な勢力が存在していたことを示しています。



1 みとやぎょいこう 三刀屋の御衣黄

春、一般的な桜より遅く4月中旬から下旬にかけ、三刀屋川河畔約2kmにわたり、約120本の薄緑色の桜「御衣黄」が咲き誇ります。さわやかで気品のある色合いが貴族の衣装を彷彿とさせることからその名がついたとされる、たいへん珍しい桜です。

休館中
令和3年
オープン

※イメージ図



2 ながいたかきねんかん 永井隆記念館

長崎で被爆しながら、身を挺して原爆傷病者の救護にあたり、病床に伏しつつも「長崎の鐘」「この子を残して」などの名著を残し、世界に「平和を」の願いを訴え続けた永井隆博士の遺品等を展示しています。建替工事のため休館中。令和3年4月リニューアルオープン予定



3 りゅうずたき 龍頭が滝

中国地方随一の名瀑といわれる龍頭が滝は、落差40mの雄滝と30mの雌滝からなり、近くの「八重滝」とともに「日本の滝百選」に選定されています。雄滝の裏側の岩窟から眺める滝も圧巻です。



雲南市観光キャラクター 人気アニメ「秘密結社 鷹の爪」の人気者・吉田くんは雲南市吉田町の出身で、雲南市の各地に出没しています。

吉田くん



飯南町



5 すがじんじゅ 須我神社

スサノオノミコトがヤマタノオロチを退治し、めとったクシナダヒメとともに創建したとされる「日本初之宮」で、スサノオノミコトが「八雲立つ 出雲八重垣まごみに 八重垣つくる その八重垣を」と歌を詠んだことから、和歌発祥の地ともいわれています。



6 うしおおんせん 海潮温泉

斐伊川の支流、赤川の谷あいにある名泉で、約1,300年前の「出雲國風土記」にもその名がうかがえる歴史ある温泉です。泉質はナトリウム-硫酸塩・塩化物泉で、神経痛などに効能があるといわれています。



7 ひいかわていぼうさくらなみき 斐伊川堤桜並木

「日本さくら名所100選」に認定された中国地方有数の桜の名所で、約2kmにおよぶ800本の桜のトンネルが楽しめます。樹齢80年以上の古木も多いため、桜の専門家「桜守(さくらもり)」が丹念に桜を手入れしています。



10 きすきせん れっしゃ 木次線トロッコ列車 おくいずも 奥出雲おろち号

ヤマタノオロチ神話ゆかりの斐伊川沿線をめぐる観光列車で、新緑から紅葉の時期まで、中国山地の雄大な景色を、開放感のある専用車両で満喫できます。

●運行区間 JR木次線木次駅～備後落合駅 (60.8km 所要時間約2時間)

●運行期間 4～11月の金、土、日、および祝日 (夏休み期間は毎日) 1日1往復



奥出雲町



8 いずも ゆむらおんせん 出雲湯村温泉

「出雲國風土記」に、「漆仁(しつに)の川辺に薬湯あり 一たび湯浴みすればすなわち身体和らぎ、再びすすげばすなわち万病消える」とあり、古くから効能の高い秘湯として有名です。泉質はアルカリ単純温泉で、切り傷、火傷、皮膚病などに効能があるとされています。



9 すがや さんない 菅谷たたら山内

映画「もののけ姫」の「タタラ場」のモデルになった場所で、日本遺産「出雲國たたら風土記」の構成文化財の一つです。日本古来の鉄づくり「たたら製鉄」の拠点が残っています。



島根県雲南市の観光サイト『うなん旅ネット』の二次元コード

